

参加者募集中

大人向けお話会 (ストーリーテリング)

名古屋市から「しずくの会」のお二人に来ていただきます。
大人が楽しめる、聞きごたえのある昔話や創作の話などをたっぷりとしていただきます。【参加無料・要申込】

【日時】 11月25日(水)
午後2時～午後3時30分(受付午後1時30分～)

【場所】 図書館本館3階学習室

【語り手】しずくの会(下澤いづみ・檜崎久美子)

【プログラム】「魔女に追われたむすめ」(ポーランドの昔話)
「風のゆうれい」(テリー・ジョーンズ/作)他

【定員】 15人

【注意】 感染予防のため、参加者同士の間隔をあけて座っていただきます。マスク着用、手指の消毒などをお願いします。

【申込方法】 図書館本館へ直接、または電話でお申込みください。

【申込・問合先】 図書館本館(0574-62-5120)

お知らせ

図書館本館では、下記の期間でトイレ改修工事を行います。期間中は、1階から3階までのトイレのうち、一部使用できない箇所があります。ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力のほどお願いいたします。
【期間】10月27日(火)～12月4日(金)

図書館で除籍した古い本を、市民の皆様に「リユース(再活用)本」としてお譲りするリユース事業は、感染症予防の観点から、下記のとおり方法を変えて行う予定です。秋の土・日2日間での開催はしませんので、ご了承ください。

3館にリユース本コーナーを設置

館内にリユース本コーナーを設け、ご来館の皆様にご自由にお持ち帰りいただけるようにします。

【開始時期】 令和3年1月(予定)

【場所】 図書館本館1階、帷子分館・桜ヶ丘分館入口付近

職員のおすすめ《この書き手に注目!》

樋口 明雄

(ひぐち あきお 1960年山口県生まれ)

山梨県自然監視員。『約束の地』(光文社)で日本冒険小説協会大賞と大藪春彦賞を受賞。他に、北岳を舞台とした「南アルプス山岳救助隊K-9」シリーズの『天空の犬』(徳間書店)など、著書多数。

南アルプスの山々を舞台に数々の小説を出版している著者ですが、今回お薦めする本『北岳山小屋物語』(山と溪谷社)は、南アルプス・北岳周辺に建つ白根御池小屋・広河原山荘・北岳山荘・北岳肩の小屋・両俣小屋5軒の山小屋の管理人と従業員へのインタビューを行い、山小屋の裏側を書き出すノンフィクションです。著者自身がそこを訪れ、小屋開きの苦勞、山岳遭難救助の実態、登山道の整備、山小屋生活の日常、食事へのこだわり、エピソードなどを、対話しながら同時進行でパソコンに打ち込んでいます。そのため話に勢いがありどんどん引き込まれていきます。それぞれの個性あふれる山小屋事情が満載です。また、両俣小屋の管理人とは初の対談で、著者の緊張感が伝わってきます。

長年山を守り続け幾多の経験や苦勞を重ねてきた人たちのひとつひとつの言葉に重みを感じました。

(本館 溝口)

角田 光代

(かくた みつよ 1967年神奈川県生まれ)

「幸福な遊戯」で海燕新人文賞を受賞してデビュー。『対岸の彼女』(文藝春秋)で直木賞、『私のなかの彼女』(新潮社)で河合隼雄物語賞など受賞作品多数。『八日目の蟬』(中央公論新社)など映像化した作品も多い。

長年にわたり多くの作品を上梓している著者ですが、小説だけではなくエッセイも書かれていることはご存知でしょうか。今回私がお薦めする本は『大好きな町に用がある』『いきたくないのに出かけていく』(スイッチパブリッシング)の2冊です。

ひとり旅は得意でないと言いながらも、訪れた国は三十余年で数十か国以上。出会った人々について、変わらない景色そして変わっていく景色について、年齢とともに変わってきた旅の形についてなど、若い頃から世界各地を旅している作家・角田光代のめくるめく旅の記憶が綴られています。著者がどれだけ旅が好きなのかがよく伝わってくる文章です。

コロナ下で今までのようなお出かけもままならない日々ですが、本を通じて旅をする愉しみを味わってみませんか?さらには自分の思い出の旅や未来の旅に思いを馳せてみるのはいかがでしょうか。

(帷子分館 長江)

あたらしく入った本

分類	書名	著者名	出版者名
情報・読書			
007.3/エ/	SNS 暴力 突然の炎上、誹謗・中傷…。不幸を繰り返さないために何ができるのか? SNS 暴力の被害の実態に迫り、加害者たちの正体を掘り下げるとともに、匿名の刃から身を守る方法を伝える。	毎日新聞取材班／著	毎日新聞出版
019.9/サ/	忬度しません コロナ禍で露呈したのは、日本には生活困窮者がこんなにいるということだった! 一億総中流は過去の夢。なぜこうなったのか。本を読んで考え続けた 5 年間の、同時代批評。	斎藤美奈子／著	筑摩書房
心理・宗教			
159/グ/	超訳 LIFE SHIFT 多くの人が 100 年以上生きる社会で、どうすれば、個人や家族、企業、社会全体が長寿化から得る恩恵を最も大きくできるのか。人生 100 年時代の生き方バイブル「ライフ・シフト」のエッセンスを凝縮。	リンダ・グラットン／著	東洋経済新報社
175.9/キ/	京都異界に秘められた古社寺の謎 京都には<現世>と<異界>のつながりを感じやすい「裏の貌」と呼ぶべき痕跡が至る所にある。史上最強の怨霊を鎮める「白峯神宮」、異変を予言して鳴動する「将軍塚」等、「異界」の記憶を深く濃くとどめる古社寺を探訪する。	新谷尚紀／編	ウェッジ
歴史・伝記			
210.4/ク/	女たちの本能寺 本能寺の変は、光秀と信長を取り巻く一族の女たちの運命をどう変えたのか。彼女たちの知られざる側面と、一次史料から分かった真実とは。濃姫、細川ガラシャ、春日局など、歴史に翻弄された 7 人の女たちの人生を追う。	楠戸義昭／[著]	祥伝社
社会			
302.1/コ/	これでいいのか岐阜県 美濃と飛騨の確執、交通網の集中、進む岐阜駅周辺再開発…。知名度もビミョーで中途半端な印象が強いが、日本のセンターにして交通の要衝でもある岐阜県。その問題点と、これから歩むべき未来を大胆予測する。	鈴木ユータ／編	マイクロマガジン社
318.8/ス/	令和・アフターコロナの自治会・町内会運営ガイドブック 巨大災害、感染症パンデミック、生活不安…いざという時に「自助・共助・公助」の連携が不可欠。自治会・町内会のあり方、大規模災害への備え、共助コミュニティの立ち上げと運営などを、事例を交えながら解説する。	水津陽子／著	実業之日本社
324.7/マ/	おひとり様の相続<4 つの対策> 身寄りがなく相続人が全くいない「おひとり様」の「死後」に生じる「死亡直後の処理」と「遺産」という 2 つの大きな問題を取り上げ、「遺産」を「国のもの」にしないための 4 つの対策を紹介する。	松田真紀子／著	ばる出版
369.3/ニ/	避難所に行かない防災の教科書 強烈的な台風や大地震などでも「逃げなくていい家」をテーマに、家族を守る家を DIY で実現する方法、停電や断水等どうまくつきあいながらストレスなく避難生活を送るためのノウハウを、写真やイラストを豊富に使って紹介する。	西野弘章／著	扶桑社
自然科学			
420/カ/	物理が楽しくなる! キャラ図鑑 「物理学園」を舞台に、35 体のキャラが物理の理論をわかりやすく説明。「力・速度」「熱」「電気・磁気」「時間と宇宙」などの 6 項目に分け、各項目に登場するキャラの役割や担うイメージをマンガで楽しく説明する。	川村康文／著	新星出版社
471.7/モ/	帰化&外来植物見分け方マニュアル 950 種 農家や一般園芸家に向け、放置すると被害が大きくなる帰化植物や、外来・在来雑草の識別法をカラー写真で詳細に解説した見分け方マニュアル。耕作地で猛威を振るう侵略的外来種の早期発見・早期対処に役立つ。	森昭彦／著・写真・イラスト	秀和システム
498.6/フ/	武漢日記 身近な人が次々と死んでいく悲惨な状況、食料品やマスクの不足、医療現場の疲弊と焦燥…。新型コロナウイルス蔓延による 1100 万都市・武漢の完全封鎖の中で実情を綴った魂の記録。	方方／著	河出書房新社

498.6/ヤ/	たちどまって考える	ヤマザキマリ／著	中央公論新社
	パンデミックを前にした漫画家・ヤマザキマリが、初めてといってもいいくらい長い期間家に閉じこもり、旅にも出ずに歩みを止め、たちどまったことで見えてきた景色について記す。		
技術・家政			
544.1/ス/	電柱マニア	須賀亮行／著	オーム社
	日本は約 3600 万本の電柱が立つ電柱大国。電柱には、電線の張り方や電線を支える腕金の形、変圧器やがいしの取り付け方など様々なバリエーションがある。個性豊かな電柱を、マニアックに深く楽しむための電柱ガイドブック。		
596/イ/	おうちで、薬膳なべ	岩崎啓子／料理	河出書房新社
	日常的な食材で、薬膳なべが気軽に自宅で楽しめる！ ベーシックなスペシャル薬膳なべスープ 3 種を伝授し、食べ慣れた鍋料理と薬膳素材をコラボさせた、大人から子どもまで楽しめる薬膳なべのバリエーションも紹介。		
産業			
601.1/フ/	麒麟を呼ぶ	福島慶太／著	PHP 研究所
	明智光秀が築いた城下町・福知山。光秀公を主人公とする大河ドラマ誘致のきっかけやそのプロセスとともに、官民一体となった“生きたまちづくり”にかける自身の思いを綴る。光秀公の偉業や人物像、歴史的背景なども紹介する。		
625.8/イ/	甘いバナナの苦い現実	石井正子／編著	コモンズ
	私たち日本人の身近にある果物バナナはなぜ安いのか？ 主な輸入先のフィリピン・ミンダナオ島では農薬の空中散布による健康被害が目立つ。栽培・流通の知られざる現状を詳細に調査し、エシカルな消費の在り方を問いかける。		
芸術・スポーツ			
750.2/ハ/	にっぽんの美しい民藝	萩原健太郎／著	エクスナレッジ
	大衆的で素朴な雑器、民藝。全国の美術館、有名店を旅しながら、民藝の世界を紹介する。柳宗悦、濱田庄司、リーチなど、民藝同人と各地のかかわりも取り上げる。		
783.7/コ/	甲辞園	ベースボール・マガジン社／編	ベースボール・マガジン社
	「高校野球」は学生のプレゼンから始まった？ 優勝投手にして優勝監督はだれ？ 春・夏の甲子園が楽しくなるマルチ事典。甲子園マニアも思わず「へ〜!」と言ってしまうトリビアが満載。記録集も充実。		
日本文学—小説			
913.6/アサ/	スター	朝井リョウ／著	朝日新聞出版
	新人の登竜門となる映画祭でグランプリを受賞した尚吾と紘。2 人は名監督への弟子入りと YouTube での発信という真逆の道を選ぶ。作品の質や価値は何をもって測られるのか…。		
913.6/イケ/	半沢直樹 アルルカンと道化師	池井戸潤／著	講談社
	東京中央銀行大阪西支店の融資課長・半沢直樹のもとに、大手 IT 企業が業績低迷中の美術系出版社を買収したいという案件が持ち込まれる。半沢は大阪営業本部の強引な買収工作に抵抗するが、背後にひそむ秘密の存在に気づき…。		
913.6/オウ/	鏡影劇場	逢坂剛／著	新潮社
	文豪ホフマンにまつわる謎の古文書。その解説が進むにつれ、ホフマンの知られざる人生と共に、現代の日本にまで繋がる不可解な暗号と因縁が浮かび上がり…。		
913.6/カワ/	三度目の恋	川上弘美／著	中央公論新社
	すべての女を虜にする男、ナーちゃんと結婚したわたし。夢のなかでは別の女として恋をするようになり…。千年の時を超え、人を恋い、惑う心の深淵をのぞく恋愛小説。		
913.6/サイ/	心淋し川	西條奈加／著	集英社
	江戸の片隅、小さなどぶ川沿いに立ち並ぶ古い長屋。住民たちは人生という川のどん詰まりでもがいていた。懸命に生を紡ぐ人々の切なる願いが胸にしみる連作時代小説。		
913.6/シガ/	私が結婚をしない本当の理由	志駕晃／著	中央公論新社
	会員になれば 3 カ月で結婚できると評判の結婚相談所を訪ねる 20～30 代の男女。一部上場企業のこじらせ女子、年収 1 千万円超の研究職…。相談所の社長と女性スタッフのコンビが、彼らがこれまで結婚しなかった真相に迫る!		

913.6/ナカ/	銀齡探偵社 静おばあちゃんと要介護探偵 2 元高裁判事・静のかつての同僚たちが、次々と謎の死を遂げた。静は、経済界の重鎮である“車椅子の暴走老人”玄太郎とともに、事件の背後にある「悪意」の正体を追う。	中山七里／著	文藝春秋
913.6/ナギ/	滅びの前のシャングリラ 1ヶ月後、小惑星が衝突し、地球は滅びる。学校でいじめを受ける友樹、人を殺したヤクザの信士、恋人から逃げ出した静香。そして-。「人生をうまく生きられなかった」4人が最期の時までをどう過ごすのか。	凧良ゆう／著	中央公論新社
913.6/ナツ/	始まりの木 旅の準備をしたまえ。これからは民俗学の出番だ-。長野、京都などを舞台に、生きること、学ぶことの意味を問う、木と森と、空と大地と、ヒトの心の物語。全5編収録。	夏川草介／著	小学館
913.6/ミヤ/	孔丘 母の死、息子との対立、老境の旅路…。「論語」に描かれる神格化された姿ではなく、不運や失意にも苛まれた人間・孔子の波瀾万丈を書いた大河小説。	宮城谷昌光／著	文藝春秋
913.6/ムラ/	風よあらしよ 服従するな。立ち上がれ-。婦人解放運動家・伊藤野枝。明治・大正を駆け抜けた彼女の短くも鮮烈な生涯を描く。史実をもとにしたフィクション。	村山由佳／著	集英社
913.6/モロ/	ちよぼ 前田家の礎は利家とまつ、そして側室「ちよぼ」によって築かれた。能登に五重塔を建立し、月光菩薩のように慕われた女傑・ちよぼの人生の決定的瞬間を描いた連作短篇。	諸田玲子／著	新潮社
913.6/ヤマ/	シグナル 史上初めて地球外知的生命体が確認された。宇宙からの謎の「声」を感知する人々が集められ、ある実験を試みる。17年後、彼らは電波信号の解析に成功。宇宙から送られる信号の正体とは…。書き下ろし青春 SF 長篇。	山田宗樹／著	KADOKAWA

本館 1 階 の 展 示

■ 11 / 28 (土) ~ 12 / 13 (日) ■

合同人権展

12月4日から10日は人権週間です。人権に関する標語・300字小説の入賞作品を展示します。

本館 2 階 の 展 示

■ 10 / 31 (土) ~ 11 / 26 (木) ■

杉原千畝展

2020年は杉原千畝生誕120周年・命のビザ発給80年の記念の年です。杉原千畝の関連図書を展示します。



図書館利用に際してのお願い

新型コロナウイルス感染症予防のため、利用者の皆様へ下記のとおりお願いします。

1. 来館前に自宅などで検温し、体調が悪い場合は来館をご遠慮ください。
2. 入館される方は、入口にある入館確認用紙へのご記入をお願いします。
3. 入館時には、マスクの着用と、手指の消毒をお願いします。
4. カウンター前に数人が並んでいる時は、間隔を開けていただくよう床の印の位置でお待ちください。
5. 本の返却時には、レシートやふせんなど本の間にはさまっていないかご確認のうえ、お返しく下さい。



開館時間 【本館】 平日 10:00~19:00
土日祝 10:00~17:00
【分館】 全日 9:00~17:00

休館日 毎週月曜日、毎月最終金曜日
11月 2,9,16,23,27,30日

スマート
フォン用
サイト



「図書館だより」2020年11月号

発行：可児市立図書館 電話 (0574) 62-5120

資料検索・予約は <http://www.kani-lib.jp/> をどうぞご利用ください。